

飯塚市障がい者施策推進協議会 会議資料(資料1,2)における質問及び回答書

資料番号1:「第4期飯塚市障がい者計画 推進状況等について」

資料番号2:「第7期飯塚市障がい福祉計画・第3期飯塚市障がい児福祉計画 進捗状況等について」

質問番号	資料番号	ページ	事業番号	事業名	質問	回答	所管課
1	1	1	1	障がい者週間を活用した啓発事業	「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の普及を含め、様々な関係者の方々の工夫はとってもありがたいのですが、実際に当事者の方々がどうだったのか、ご意見が欲しい。	令和5年3月に内閣府が公表した「障害者に関する世論調査」では「ヘルプマーク」を知っていると答えた方が52.3%、令和6年2月に東京都が行った調査では「ヘルプカード(マーク含む)」を意味も含めて知っていたと答えた方が66.5%となっており、認知度は上昇傾向にあるとみられます。 当事者の方の意見としては、利用により「公共交通機関の利用時などに周囲から配慮してもらう」など、具体的な場面で安心感や援助を受けやすくなったという肯定的な声が多くあります(出典:障がい者総合研究所 2017年調査)。 また、「利用時の周囲の反応が気になるから」や「認知不足により役に立たないと思うから」と利用をためらう方、マークだけでは「どのような援助が必要かわからない」といった意見も見られます(出典:ゼネラルパートナーズ 2021年調査)。 今後の課題として認知度と理解度の向上、不安・偏見の解消、具体的な情報提供の促進を進める必要があると考えています。	社会・障がい者福祉課
2	1	4	9	成年後見制度の利用促進	成年後見制度の理解、普及には永年の月日を必要としています。 関係者の皆さんで学びを更に深め、だれでもが尋ねられたら伝えることできる環境をつくりましょう。	令和6年12月末日時点における、成年後見制度(成年後見・保佐・補助・任意後見)の利用者数は合計で253,941人(最高裁判所事務総局家庭局)となっており、認知症高齢者等の増加に比べ、利用者は低水準にとどまっています。 「財産を奪われる」「自由がなくなる」等の不信感による心理的抵抗、「制度の多岐性(手続きや権限が異なる)」「手続きや窓口が分かりにくい」等の制度の複雑さ、「不動産売却の誤解(家族なら売買できる)」「制度の必要性に気づくのが遅すぎる(認知機能低下進行後)」等の認識の遅れが課題となっています。 市としても、これらの課題解消のため、制度の周知徹底と理解しやすい広報を図り、「元気なうちの備え」として利用しやすい環境を目指します。	社会・障がい者福祉課
3	1	12	31	障がい者週間にあわせた作品展の開催	見えない個性、作品を見出す良いきっかけとなります。 もっと展示できる場所を細かく見出し、展開しては如何でしょうか？	障がい者週間の作品展をはじめ、「みんなの健幸・福祉のつどい」での展示を行っています。 今後は各交流センター等で行われる「地区文化祭」等のイベントにて出展ができないか、関係機関と協議を行い、幅広い方々へ作品を見ていただける機会を増やせるよう考慮してまいります。	社会・障がい者福祉課

飯塚市障がい者施策推進協議会 会議資料(資料1,2)における質問及び回答書

資料番号1:「第4期飯塚市障がい者計画 推進状況等について」

資料番号2:「第7期飯塚市障がい福祉計画・第3期飯塚市障がい児福祉計画 進捗状況等について」

質問 番号	資料 番号	ページ	事業 番号	事業名	質問	回答	所管課
4	1	18	46	就労移行支援事業	当法人では、入所施設から15名のご利用者様を工場等に就労いたしました。 社会経済の変動、海外からの就労(主にことばの問題)等で苦勞しました。 17年間働いてきた方は、60才を迎え仕事を退職しました。 交通機関の利用(工場までバス、徒歩、電車)を利用して本当に頑張りました。 海外の就労者への対応も大変の様でした。	本市の障がい福祉サービスにおける貴法人の長年にわたるご尽力について、深く感謝申し上げます。さまざまな困難を乗り越え、利用者様が安心して働ける環境を整えられたことは、地域社会にとって大きな意義を持つものと考えております。 今後とも、障がい者の就労機会の拡充に向けて、本市としても支援を続けてまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。	社会・障がい者福祉課
5	1	1	1	障がい者週間を活用した啓発事業	障がい者の理解を求める企画をしたらどうか。 意見を出し合い楽しい行事にしたい (事業番号31関連)	障がい者の理解を求める企画としましては、大きなものとして、昨年度は、障がい者週間において、飯塚市役所1階多目的ホールでの障がいのある方が製作した作品等の展示や啓発横断幕の設置、をおこなっております。 また、昨年度より団体や施設の皆様の協力により、市役所でまごころ製品の販売会を開催するなど、楽しい行事となるよう市としても先頭に立って実施していこうと考えております。 団体の皆さんがおこなうイベントや勉強会等についても協力をおこなって参りたいと考えておりますので色々なご意見をいただければと思います。	社会・障がい者福祉課
6	1	1	3	障がい特性等に関する知識の普及啓発	市報以外にも取り組みはありますか	市の公式ホームページに、「障がい者ガイドブック」「スペシャルサポートブック～障がいがあるお子さんを育てるご家族のために～」のガイドブックを掲載し、強化週間では「障がい者週間(毎年12月3～9日)」に市庁舎に横断幕を掲示して、障がいにかかる知識の普及と啓発を行っています。 また、市の社会障がいの窓口等においても、各団体や市内でのイベント等のチラシの設置や市民の方が参加する各種イベント等で、啓発に取り組んでおります。	社会・障がい者福祉課

飯塚市障がい者施策推進協議会 会議資料(資料1,2)における質問及び回答書

資料番号1:「第4期飯塚市障がい者計画 推進状況等について」

資料番号2:「第7期飯塚市障がい福祉計画・第3期飯塚市障がい児福祉計画 進捗状況等について」

質問番号	資料番号	ページ	事業番号	事業名	質問	回答	所管課
7	1	2	5	みんなの健康・福祉のつどい	施設利用者がもっと来れるようにしてほしい 目的はどのようにお考えですか	施設利用者の来場につきましては、事前に施設からの要望がございましたら、ステージ会場に近い場所に駐車場を用意し施設利用者でも来場いただけるよう対応しております。令和6年度は2施設よりご連絡いただき対応しております。 また、屋内会場である総合体育館正面入り口付近に、障がい者向け「おもいやり駐車場(13台)」を設け、バスを利用して施設から来場された方々は、会場に近いバス乗降場にて乗り降りしていただくなど、アクセスしやすい環境を整えております。今後も、更に多くの人にご来場いただけるよう、施設等への周知やアクセス環境を整えてまいります。 福祉のつどいの目的につきましては、2025年度は「健幸に関する情報提供や体験」と「障がいのある方、ない方の交流」を通して、健幸と福祉に関して楽しみながら知識・理解を深めていただき、本市の掲げる健康都市いいづか(すべての人が健康でいきいきと笑顔で暮らせるまち)の実現を推進するを目的として開催しております。	社会・障がい者福祉課
8	1	12	31	障がい者週間にあわせた作品展の開催	一般市民に理解を求めるような企画ができないか。 飯塚市とサン・アビリティーズ飯塚との連携はどうなっていますか	①障がい者週間では、サン・アビのイベントを市報への掲載をおこない、市とサン・アビでイベント日程が被らないように連携して調整しております。また、市ホームページに障がい者週間のイベント情報として、市での展示と併せてサン・アビで実施しているアートフェスタ2025の内容も掲載するなど、協力・連携して障がい者週間での啓発をおこなっております。	社会・障がい者福祉課
9	1	20	57	障がい者の活動の場の提供	(サン・アビリティーズ飯塚) 令和8年度からの管理はどうなる予定ですか	現在、プロポーザル(提案された事業内容や経験、企画力を総合的に判断し、最も優れた提案をした事業所を選ぶ)を終え、管理を委託する事業者団体を選定しております。 12月に行われる飯塚市議会にて、議案決定の上、管理委託契約を行い、令和8年度から令和12年度までの管理をお願いすることとなります。	社会・障がい者福祉課

飯塚市障がい者施策推進協議会 会議資料(資料1,2)における質問及び回答書

資料番号1:「第4期飯塚市障がい者計画 推進状況等について」

資料番号2:「第7期飯塚市障がい福祉計画・第3期飯塚市障がい児福祉計画 進捗状況等について」

質問 番号	資料 番号	ページ	事業 番号	事業名	質問	回答	所管課
10	1	21	59	障がい者団体の 支援	(補助金) 目的・金額・内容についての現状教えてください。 スイーツ飯塚活動についてお話をさせてください	令和7年3月31日付、飯塚市告示第96号「飯塚市障がい当事者団体等活動補助金交付要綱」に基づき、障がい者等及びその家族やその地域を含めた「交流会事業」「災害対策事業」「社会復帰事業」「レクリエーション事業」「能力向上事業」等を目的とし、対象事業に要する経費のうち、報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、賃借料及び備品購入費並びに負担金を対象として、対象経費の10分の9(ただし、算出された額に1,000円未満の端数が生じた場合は、その端数を切り捨てた額とする。)を補助金の額としています。 令和7年11月27日時点において、今年度の実績については8件、申請予定件数は14件の計22件となっております。	社会・障がい者福祉課
11	1	1	3	障がい特性等に関する知識の普及啓発	最近、ヘルプカードをリュックにつけているお子さんを見かける機会が増え、周囲の認知も広まっているように感じます。このヘルプカードは、療育手帳や障がい者手帳を渡すときに、いっしょにお渡ししているのですか？もしまだなら、ぜひ新しく手帳を渡す方には、ヘルプカードをいっしょに渡していただきたいです。	自らの障がいや疾患を知られたくない方もおられること、マークを持つという決定は自らの意思で当事者がおこなうことであるという意思決定の考え方を優先し、一緒に渡すということは現在、おこなっておりません。 また、ヘルプマーク(カード)は、福岡県が管理しているため、申込書が必ず必要であること、マークの管理に市単独でおこなう裁量がないということで渡すことが困難であるということもございます。 しかしながら、ヘルプマーク(カード)は当事者の皆さんには、社会で安心して生活するためのものとなりますので、マークのことを知らないということがないよう、プライバシーに配慮しながら積極的に窓口にて説明し、所持の促進と制度の周知を行ってまいります。	社会・障がい者福祉課
12	1	8	18	乳幼児健康診査	現在、4カ月と8カ月、1才6カ月、3才のみ乳幼児検診が行われていますが、令和6年度より5才児の集団検診が国の方針として推進されていると聞きましたが、飯塚市ではどのように対応されますか？5才児健診をすることで、発達障がい気づき、その後のフォローアップ体制が整うと思います。	5歳児健診については、現在実施している育成指導事業において5歳児健康診査の目的と同等の事業を行っており、既存の事業との精査が必要であると考えています。 また、医師や心理士、保育士等の専門職といったマンパワーの確保も必要であるため、課題を整理しながら、実施に向けた具体的な検討をしているところです。	こども家庭課

飯塚市障がい者施策推進協議会 会議資料(資料1,2)における質問及び回答書

資料番号1:「第4期飯塚市障がい者計画 推進状況等について」

資料番号2:「第7期飯塚市障がい福祉計画・第3期飯塚市障がい児福祉計画 進捗状況等について」

質問 番号	資料 番号	ページ	事業 番号	事業名	質問	回答	所管課
13	1	24	71	社会教育施設等の整備	飯塚市総合体育館の障がい者専用駐車場から玄関入り口までの雨よけのアーケードがありません。設置する予定はありますか？	総合体育館については雨よけを追加で設置する予定は今のところございません。今後の検討課題とさせていただきます。	スポーツ振興課